

拉致問題対策本部第1回会合概要

平成25年1月25日
拉致問題対策本部事務局

日時：

平成25年1月25日（金）10：25～10：40

場所：

官邸4階大会議室

出席者：

本部長 安倍内閣総理大臣

副本部長 古屋拉致問題担当大臣、菅内閣官房長官、岸田外務大臣

麻生副総理、新藤総務大臣、谷垣法務大臣、下村文部科学大臣、
田村厚生労働大臣、林農林水産大臣、茂木経済産業大臣、
太田国土交通大臣、石原環境大臣、小野寺防衛大臣、根本復興大臣、
山本内閣府特命担当大臣、森内閣府特命担当大臣、
甘利内閣府特命担当大臣、稲田内閣府特命担当大臣

加藤内閣官房副長官、世耕内閣官房副長官、西村内閣府副大臣、
亀岡内閣府大臣政務官、杉田内閣官房副長官、
内閣官房副長官補（内政、外政）、内閣広報官、内閣情報官、
拉致問題対策本部事務局長

議事次第：

1. 開会
2. 本部長挨拶
3. 今後の対応方針等について
4. 閉会

配布資料：

[資料1：拉致問題対策本部の設置について](#)

[資料2：拉致問題の解決に向けた方針及び具体的施策（案）](#)

[資料3：政府・与野党拉致問題対策機関連絡協議会の開催について（案）](#)

[資料4：拉致問題に関する組織体制（イメージ）](#)

以下、議事概要

- 冒頭、安倍総理から、北朝鮮による拉致は、未曾有の国家的犯罪行為、我

が国の主権と国民の生命・安全に関わる重大な問題であり、一刻も早く拉致被害者の生還を実現すべく、政府一丸となった取組を推進していく旨発言があった。

○ 古屋拉致問題担当大臣から以下のとおり発言があった。

① 拉致問題対策本部の設置について

総理を本部長とし、全ての国務大臣を構成員とする新たな拉致問題対策本部が設置された。

② 拉致問題の解決に向けた方針及び具体的施策（案）について

政府としては、拉致問題の解決なくして北朝鮮との国交正常化はあり得ないとの方針を堅持し、全ての拉致被害者の安全確保及び即時帰国のために全力を尽くす。また、拉致に関する真相究明、拉致実行犯の引渡しを引き続き追求していく。これらの3つの基本方針の下、拉致問題の解決に向けた具体的施策として、8項目を定めることが本部として決定された。

「拉致問題の解決に向けた方針及び具体的施策」に沿って、拉致問題に政府一体となって連携・協力しながら取り組んでいくこととなった。

③ 政府・与野党拉致問題対策機関連絡協議会の開催について

拉致議連役員、各党の拉致問題対策組織代表等が参加し、拉致問題担当大臣主催による連絡協議の場等を設ける。

今後、これらの場を活用して、政府・与野党が連携することはもちろん、有識者等とも広く連携しながら取り組んでいくこととなった。

○ 岸田外務大臣から、北朝鮮情勢について報告があり、拉致問題の解決なくして北朝鮮との国交正常化はあり得ないとの方針を堅持し、北朝鮮側に拉致問題の解決に向けた具体的な行動を強く求めるとともに、適切な時期・やり方で北朝鮮との協議を行い、日朝平壤宣言に則って、拉致・核・ミサイル等の諸懸案を解決すべく、全力を尽くす旨発言があった。

以上